

今野正明  
議員



## 財政展望など町民の不安の無いように説明責任を果たせ

町長 町民の皆様にわかりやすく理解される説明をしていく

### 町民への説明の姿勢が大事

**今野** 厳しい地方行政時代です。町民の不安などを解消する将来ビジョン、とりわけ財政計画の今後の見通しを、町民にわかりやすく、誤解なく、納得のいく説明をすべきと思いますがいかがですか。

**町長** 予算や決算の状況、町のバランスシート、財政状況などの一覧表を、その都度、町報で情報を提供しています。

また、町のホームページ上でもお知らせしています。

### 公債費の要因は

**今野** 現在ある累積債務の主な要因、中身は何ですか。その債務残高は今後どうなりますか。また、鮎貝まちづくり事業による影響はどうですか。

**町長** 公債費（借金返済）の要因は、健康福祉センターをはじめとして、鷹山小学校や東中の大規模改修、スキー場、スカイパーク、特養ホーム増床などです。公債費残高は18年度末の一般会計で約104億円ですが、5年後には74億円程度まで減少します。

なお、特別会計、企業会計などの他会計の借金残高は、83億円程ですが、これも5年後には、74億円となり、全体で21%強の減少となります。

これは、鮎貝まちづくり事業も見込んでの額です。公債費残高は、過疎債など有利な財源を活用しており、国から交付税として約60%措置されますので、40%が町の返済の必要額です。

**町長** 振興実施計画に基づき整備していきます。公正・公平は行政の推進の基本であり、今後、下水道の負担割合など、公平となるよう具体的に検討していきます。

### 公平、公正なまちづくりをどうとらえる

**今野** 借金を減らして行くとのことですが、生活に欠かせない社会資本整備は、ちゃんとできますか。また、下水道や公共交通などは、地域間で負担の格差がある

### 町民の声を聞く機会を設けよ

**今野** 町報での説明で十分でしょうか。インターネットも町民の何パーセントの人が見ているか。地域へ出向くなど、町民に配慮した説明をすべきです。

町民への説明責任の一環として、移動町長室を地域ごとに、管理職ともに出向いて実施してはどうですか。

**町長** 移動町長室は、町民の要望に応じて開催するだけでなく、行政の方で主体的に取り組む必要があります。

町民のご意見は非常に大事なので、今後は実施のあり方を改善していきます。



まちづくり座談会